

ベンチャー51社CES出展

日本発 オンラインでハードル下がる

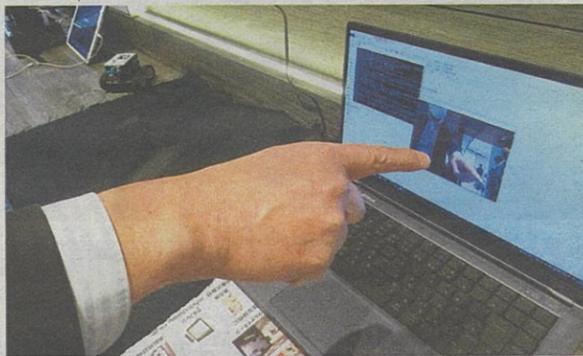
世界最大級のIT見本市「コンシューマー・エレクトロニクス・ショー（CES）」が11日に初の全面オンライン形式で始まった。オンライン形式のため出展のハードルが下がり、昨年の約2倍の数の日本のベンチャー企業が出展。コロナ対策など社会課題解決につながる技術を世界に発信した。

日本貿易振興会（ジェトロ）

は2019年から日本のベンチャー企業のCESへの出展をサポート。今年は51社のベンチャー企業が出展した。

人工知能（AI）ベンチャーの知能技術（大阪市北区）は、画面やマウスに触れることなく、パソコンやタブレット端末を操作できる非接触型操作デバイスを開発した。このデバイスはすでにくら寿司で採用されて

知能技術が開発した非接触型操作デバイス



いる。昨年10月に発売したところ、国内外から数百件の問い合わせが入った。シンガポールに販売代理店2社を起用し、今後世界で拡販する。大津良司社長は「日本発の技術を世界に売り込みたい」とCES出展への意気込みを見せた。

映像技術のAMATELUS（アマテラス、東京都渋谷区）は、数十台のスマートフォンで同時撮影した画像を合成、配信する技術「スワイプビデオ」を出展した。オーケストラのコンサートでパートごとの演奏を楽しめるほか、球技スポーツでも多彩な角度から観戦できる。現在は撮影から配信まで約7秒の誤差が生じるが、第5世代（5G）移動通信システムなら「ほぼリアルタイムで楽しめる」（小田啓最高執行責任者）という。

ロボット開発のアルケリス



AMATELUS（アマテラス）は多数のスマートフォンで同時撮影した画像を合成できる

（横浜市金沢区）のアシストスーツは、中腰の姿勢を長時間保持できる。世界で拡販するには「日本よりも体格の大きな外国人でも使えるような改良が必要」（佐保勝彦事業戦略室長）と考え、出展を通じて改良に向けた実証実験に協力してくれる企業を探す。フィンテックベンチャーの財産ネット（東京都千代田区）は新興国向け与信審査ソフト「ディープスコア」、スカイドライブ（同新宿区）も開発中の電動式小型垂直離着陸機

のコンセプトデザインをCESで公開した。

自治体としては福岡市が昨年に続いて出展。九州大学跡地（同東区）でベンチャー企業の技術を取り入れた未来都市「フクオカ・スマート・イースト」を紹介する。

CESに併せて、日本でもオンラインCESに出展するベンチャー企業による実演展示イベントが開催されている。東京都千代田区の有楽町電気ビルで17日まで。

ソニー、空撮用ドローン発表

中韓勢は伸縮画面スマホ

ソニーは11日、映像クリエイター向けに、空撮用の小型無人機ドローンを発表した。世界最大級の家電IT見本市「CES」に参加した各社のオンライン発表会が相次ぎ、中韓勢は画面が巻き取り式で伸び縮みするスマートフォンを披露した。

ソニーのドローンは、同社のミラーレス一眼カメラを搭載し、安定した飛行性能で迫力のある映像を撮影できるという。吉田憲一郎社長は「空を限りな

い創造のための場所に変える」と強調し、新たな映像分野の開拓に意欲を示した。

韓国のLG電子と中国のTCL集団はそれぞれ、スマホの画面が巻き取り式で伸縮する動画を公開した。TCLの画面は6.7インチから7.8インチに拡張する。

韓国のサムスン電子は人工知能（AI）を搭載した自動掃除機を発表した。センサーで部屋の状態を認識し、留守宅の監視機能も備える。

日本勢はほかに、パナソニックが新型コロナウイルスの感染防止策として、アプリで注文し



空撮用のドローンを披露するソニーの吉田憲一郎社長（CESの発表会の動画から）

た食品を人と接触しないで受け取れるロッカーを披露。オムロンは高血圧症の遠隔医療サービスを紹介し、患者の健康状態を遠隔で把握する必要性が高まっていると説明した。

CESは14日まで開かれる。

例年は米西部ネバダ州ラスベガスで開いているが、今年も新型コロナウイルスの流行で初のオンライン開催となった。

（ニューヨーク 共同）

勝連城跡周辺整備 PFI活用

沖縄県うるま市



沖縄県うるま市は、民間の資金などを活用して公共施設の建設・維持管理を行うPFI手法での世界遺産整備を本格化している。8日には世界遺産の勝連城跡周辺整備事業でPFI手法を導入し、新たな世界遺産の活用を検討する実証事業イベント「勝連城フェス2021」を開催、うるま市観光大使に就任したHY＝写真＝のライブなどを行った。イベントには、PFIへの参画を検討する多数の企業やメデイ

ア、旅行関係者が参加した。

PFI活用について、主催者のうるま市都市建設部勝連城跡周辺整備室の岸本力室長は「勝連城跡は『開かれた世界遺産』として、民間事業者の知恵や経験を生かした形で活用していきたい」と語った。

うるま市では勝連城跡周辺に公園を整備するほか、歴史展示とライブステージを組み合わせた文化観光施設、飲食物販施設の整備を計画。2021年度までにPFI事業者の選定や指定管理者を指定し、25年度の全部供用開始を目指している。

勝連城跡は年間18万人以上が訪れる人気の観光スポットで、00年に琉球王国のグスクおよび関連遺産群として世界遺産に登録された。

4月25日開催、申し込み受け付け



高齢者住まい
アドバイザー
検定

内閣府認可の一般財団法人職業技能振興会と一般社団法人高齢者住まいアドバイザー協会は、第9回高齢者住まいアドバイザー検定（後援・産経新聞社・フジサンケイビジネスアイ）の申し込みを開始した。

超高齢化社会を迎えた日本で期待される、高齢者の住まい選びから介護保険などの社会保障、ライフプランまで、本人と家族を的確にサポートできる人材の育成を目的としている。介護関係者のみならず、不動産、金

融、官庁、土業をはじめ、あらゆる業界、団体で高齢者対応が求められる昨今、幅広い層で活用できる資格となっている。

また、検定当日には直前対策講座（有料）も実施し、受験者の合格をサポートする。

試験日時・4月25日午後2～3時（事前対策講座・同日午前10～午後1時）

会場・東京、大阪のほか、もう1カ所を予定（会場詳細は申し込み者へ送付）

受験料・8000円（学生は6000円、事前対策講座9000円、税込み）

申し込みは、職業技能振興会ホームページ（<http://fos.or.jp/>）、資格に関する情報は高齢者住まいアドバイザー協会ホームページ（<http://ksa-kentei.com/>）まで。

「おかえり！ノムさん」 支援金4354万円集まる

■来月14日記念セレモニー

野村克也さんの遺品などを大阪・難波の商業施設なんばパークスにある「南海ホークスメモリアルギャラリー」（大阪市浪速区）に展示する「おかえり！ノムさん大阪球場（なんばパークス）に。」が11日で終了した。2388人が協力し、支援金4354万1500円が集まった。2月14日にリニューアル記念セレモニーイベントを行う予定。

新社長

◆東洋紡

竹内郁夫氏（たけうち・いくお）神戸大卒。1985年東洋紡績（現東洋紡）。常務執行役員などを経て2020年6月から取締役常務執行役員。58歳。香川県出身。檜原誠慈社長は代表権のない会長。4月1日就任。



訃報

川上哲郎氏（かわかみ・てつろう）元関西経済連合会会長、元住友電気工業社長。9日、老衰のため死去、92歳。葬儀は近親者で行った。後日お別れの会を開く予定。喪主は長男、尚貴（なおたか）氏。